

令和 5 年 6 月 13 日現在

機関番号：12613

研究種目：基盤研究(A)（一般）

研究期間：2018～2022

課題番号：18H03584

研究課題名（和文）アーカイブズとしての書籍 書籍史料を次世代に伝えるために

研究課題名（英文）Further Studies on Books as Archives

研究代表者

若尾 政希（WAKAO, Masaki）

一橋大学・大学院社会学研究科・教授

研究者番号：80210855

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 20,900,000円

研究成果の概要（和文）：（1）<書物・出版>と<社会>との相互関係の様相を解き明かしていくために、第1班：読書と読者、第2班：書籍の宇宙、第3班：書籍文化とその基底、第4班：出版と流通、第5班：書籍の思想史、第6班：様式と造本の6つの研究班を設定した。（2）「書物・出版と社会変容」研究会を5年間で39回開催するとともに、雑誌『書物・出版と社会変容』を10冊（21号～30号）出し、研究成果の一端を収載した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

書籍史料を未来の世代に伝えていくべきアーカイブズとして位置づけようとする点に、本研究の学術的な特色と新しさがあるといえる。「書物・出版と社会変容」研究会には、多くの大学から若手の研究者（院生を含む）が参加してくれており、本研究により、書籍史料を扱うことができる研究者が育ってくれることも期待される。また共同で蔵書整理を行うことによって、そのノウハウを確立するとともに、後進に伝えることができると考える。千葉県木更津市立図書館に所蔵されている未整理の和書を共同で整理し目録を作成して、その研究成果を市民や研究者に報告できたことは貴重な経験であり、蔵書整理のモデルケースとして位置づけることができよう。

研究成果の概要（英文）：1.The following six project subgroups were formed in order to elucidate the mutual relation between books, publishing and society: (1) Reading and Readers (2)Universe of Books (Cultural history of Books) (3)Book culture and its foundation (publishing and environment) (4) Circulation of Books (5)History of thought in Books (6)Style and Bookbinding  
2. "The Society of Books, Publishing and Social Change" met 39 times in 5 years, and the Society published 10 issues of "Books, Publishing and Social Change" in 5 years. The 10 issues contain articles, reviews of historical documents and books, and fieldwork reports.

研究分野：日本史

キーワード：史料 出版 書物 メディア

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

戦後、各地の蔵に眠っていた地方文書(じかたもんじょ)が歴史を叙述する一次資料として脚光を浴び、日本全国で史料調査が行われ文書の整理や目録の作成がなされてきた。ところが、ここでは手書きの文書のみが重視され、文書とともに書籍(書物とも)が出てきても、「邪魔もの」扱いにされ整理の対象とならなかつたり、整理したとしても目録の「雑」の部に入れられ分析の対象となつてこない場合もあつた。このような実情を反映し、書籍はながらく史料として扱われてこなかつた。近年のアーカイブズ研究をリードしている安藤正人は、アーカイブズ archives の訳語として「記録史料」を使用しているが、「二次的な複製情報物である印刷出版物やレコード、市販ビデオなどは原則として」含めないと定義している(安藤正人「記録史料学とアーキビスト」『岩波講座日本通史別巻3』岩波書店、1995年)。これによれば、複製情報物である書籍はアーカイブズから除外されてきたのである。

それに対して、書籍に着目して書籍を史料として歴史を叙述しようとする研究動向が出てきたのは、1990年代半ば以降のことである。その先駆的なものをあげれば、阪神淡路の大震災の直後に開始された史料救済・保全活動の中で、近世の庶民が膨大な蔵書をもっていたことに新鮮な驚きを感じた横田冬彦は、畿内をフィールドにした蔵書調査から、1700年前後には畿内村落において知的読者層が成立していること、そして近世の政治支配はそのような在地社会の知の水準を踏まえた上での支配であつたという刺激的な論点を提起した(横田冬彦「近世村落社会における<知>の問題」『ヒストリア』159、1998年)。また能登時国家の膨大な蔵書の整理に直面した橘川俊忠は、奥能登や関東をフィールドに蔵書の掘り起こしを行い、家・地域の総合的調査研究に蔵書研究が重要な位置を占めるという問題提起を行った(橘川俊忠「在村残存書籍調査の方法と課題 時国家所蔵書籍調査報告1(近世編)」『歴史と民俗』4、1989年)。思想史研究では、三宅正彦が、安藤昌益の思想的風土をさぐるために北奥羽地域をフィールドにした蔵書研究を行った(三宅正彦『安藤昌益と地域文化の伝統』雄山閣出版、1996年)。史料論としては、藤實久美子が「書籍史料論」(書物の史料論)を提示した(藤實久美子「近世書籍史料論に関する覚書」『史料館研究紀要』31、2000年)。こうした動向を受けて2000年には、『歴史評論』(605号)が「書物と読書からみえる日本近世」という特集を企画した(歴史科学協議会編集『歴史評論』605、2000年)。その反響は大きく、書籍に関心をもつ研究者が増加し、いくつもの学会で書籍史料を扱った報告が組まれた。ようやくにして歴史研究は、文書に加え書籍をも史料として歴史を叙述できる段階に到達したのである。こうした動向を捉えて研究代表者は、歴史研究者だけでなく、広く人文・社会科学の研究者に呼びかけ、「書物・出版と社会変容」研究会を立ち上げた。幸いにも科学研究費の交付を得て、各人の研究成果を持ち寄る研究集会を118回、研究論文を収載した雑誌『書物・出版と社会変容』を20号まで発刊し、紙媒体だけでなく、研究代表者が所属する一橋大学の機関リポジトリとして世界に発信してきた。いまや一橋大学は、国内だけでなく、国外においても書籍研究の拠点として認知されるようになってきている。

### 2. 研究の目的

このようにして、ようやくにして蔵書・書籍の史料的価値が研究者に認知されるようになってきたが、たとえば歴史研究を専攻するすべての研究者が、蔵書・書籍を史料として使い始めたわけではない。いまだ多くの研究者にとって、書籍を史料とした研究は、特別な分野であるというような認識にとどまり、自らが積極的にそれに参与するものとはなっていない。研究者にして、このような認識であるので、一般の人々は、なおさらである。これが蔵書・書籍の散逸という深刻な状況を招いている。蔵書・書籍をもつ家の子孫も、先祖の肉筆でかかれた文書は大切にしますが、紙魚(しみ)に食い荒らされ埃をかぶった書籍を嫌い、家を建て替えるときや、地震・台風等の災害に襲われたときに、処分したり、骨董商に引き取ってもらつたりと散逸し続けているのである。いまや、研究者は総力をあげて、これまで書籍史料に関心を持ってこなかつた研究者や一般の人々に対して、蔵書・書籍の重要性をわかりやすく説明して、蔵書・書籍を散逸の危機から救い出さねばならないのである。本研究では、書籍史料を対象とした研究の可能性をとことんまで追求していきたい。

### 3. 研究の方法

(1) 書籍史料を対象とした研究の可能性を追究するために、第1班：読書と読者、第2班：書籍の宇宙、第3班：書籍文化とその基底、第4班：出版と流通、第5班：書籍の思想史、第6班：様式と造本の6つの研究班を設置して、研究を進める。

(2) 史料救済・保全活動に深く関わり、修復・クリーニング・整理の現場から書籍史料の歴史的意味について考える。

(3) 蔵書整理の実践を通じて、書籍史料をアーカイブズとして保存していくときのモデルケースを提示する。

(4) 上述の成果を持ち寄って「書物・出版と社会変容」研究会を月例で開催する(年に8回予定)。東京以外の10都市(研究期間5ヶ年)で講演会・研究会を開催する。

( 5 ) 研究成果を発信するために、『書物・出版と社会変容』他の書籍を出版する。

#### 4 . 研究成果

( 1 ) 本研究では、6 つの研究班を設定し、研究を推進した。

( 2 ) コロナ禍で制限されたが、可能な限り史料救済・保全活動に関わった。本科研の分担者が2019 年台風 19 号豪雨災害に際して信州資料ネットの立ち上げに関与した。たとえば水損した寺の蔵書の修復・クリーニングの活動に参加した。

( 3 ) 蔵書整理については、木更津市教育委員会と中央大学鈴木俊幸研究室、一橋大学若尾研究室の三者で「和本共同調査に関する覚書」を結んで、木更津市立図書館所蔵の未整理の和本を整理して目録を完成させるとともに、市民・研究者を対象にして報告会( 第 128 回「書物・出版と社会変容」研究会千葉県木更津大会)を開催した。なお、当初予定していた安丸良夫氏の蔵書調査は、コロナ禍で個人宅において作業をすることができず、延期せざるを得なかった。

( 4 ) 研究成果を持ち寄って、「書物・出版と社会変容」研究会を開催した。この5 年間で39 回の研究会を開催した( 第 119 回~157 回)。新型コロナウイルスの影響で、2020 年6 月( 第 135 回)からオンラインで開催することになったが、世界・日本各地から多人数の方々に参加していただいた。地方大会も、神奈川県小田原大会( 第 126 回、2019 年2 月2 日)、千葉県木更津大会( 第 128 回、2019 年5 月11 日)、愛知県豊橋大会( 第 131 回、2019 年11 月2 日)、広島大会( 第 138 回、2020 年11 月7 日、報告者のみ現地、ハイブリッド開催)、岐阜県高山大会( 第 149 回、2022 年2 月5 日、オンラインのみ)、京都大会( 京都先端科学大学、第 157 回、2023 年3 月4 日、ハイブリッド開催)の6 回開催できた。

( 5 ) 研究成果をまとめた雑誌『書物・出版と社会変容』を5 年間で10 号( 第 21 号~第 30 号)を編集・印刷し、全国の教育・研究機関、史料保存機関等に配付するとともに、一橋大学機関リポジトリで公開した。

( 6 ) ドイツのケルン大学で開催された国際シンポジウム( The Commercialization of Knowledge in Edo Period Japan、2023 年1 月14 日)、オランダのライデン大学で開催された国際シンポジウム( Symposium Religion in the Age of the Book、2019 年6 月4 日)、フランスのパリ・ディドロ( 第七) 大学( 当時)で開催された国際シンポジウム( La vie culturelle et intellectuelle du Japon des Tokugawa au prisme des livres、2018 年11 月16 日)、フランスのストラスブール大学での講演会( 2018 年11 月22 日)において、本研究の問題意識や成果を報告することができた。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計72件（うち査読付論文 8件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 若尾政希	4. 巻 929
2. 論文標題 百姓一揆から何が見えるのか	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 歴史地理教育	6. 最初と最後の頁 28 - 33
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木俊幸	4. 巻 27
2. 論文標題 小学校令期東山梨郡における教科書類の流通	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 書物・出版と社会変容	6. 最初と最後の頁 1 - 19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木俊幸	4. 巻 129
2. 論文標題 兔屋の書籍出張販売	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 紀要 言語・文学・文化（中央大学文学部）	6. 最初と最後の頁 85 - 130
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木俊幸・國分美奈穂・湯沢友実・原田和佳・乙部桃子・小野澤美優・畑中彩花	4. 巻 65
2. 論文標題 《共同研究》大阪の書籍安売業者について考える	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 中央大学国文	6. 最初と最後の頁 63 - 85
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本英二	4. 巻 230
2. 論文標題 書評 温泉研究は歴史学たり得るのか 高柳友彦著『温泉の経済史：近代日本の資源管理と地域経済』に寄せて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 人民の歴史学	6. 最初と最後の頁 39 - 44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本英二	4. 巻 -
2. 論文標題 全国資料ネット総覧 中部 信州資料ネット	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 天野真志・後藤真編『地域歴史文化継承ガイドブック』(文学通信)	6. 最初と最後の頁 179 - 182
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 曽根原理	4. 巻 32
2. 論文標題 豊臣秀吉、徳川家康の神格化与“徳川王権論“	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本学研究 北京日本学研究中心	6. 最初と最後の頁 65-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 綱川歩美	4. 巻 68
2. 論文標題 近世後期藩学と閩齋学 - 高鍋藩儒・千手廉斎の『自求録』を中心に -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 史海	6. 最初と最後の頁 14 - 34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 綱川歩美	4. 巻 130 - 7
2. 論文標題 書評 松川雅信著『儒教儀礼と近世日本社会；闇齋学の『家礼』実践』	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 史学雑誌	6. 最初と最後の頁 90 - 96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 引野亨輔	4. 巻 -
2. 論文標題 『あたりまかせ』 近世在村僧侶の日常世界	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 福田千鶴・藤實久美子編『史料で読み解く日本史 近世日記の世界』（ミネルヴァ書房）	6. 最初と最後の頁 90-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤宏之	4. 巻 10
2. 論文標題 「幕末薩摩藩士の日記にみるイエ意識 「新納仲左衛門日記」と「邦永仲之進日記」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 始良市誌史料	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小関悠一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 熊本藩宝暦改革と近世後期の政治理念	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『永青文庫叢書 細川家文書 意見書編』（吉川弘文館）	6. 最初と最後の頁 383 - 390
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 芹口真結子	4. 巻 53
2. 論文標題 書評 石原和著 『「ぞめき」の時空間と如来教 近世後期の救済論的転回』	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本思想史学	6. 最初と最後の頁 166 - 171
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古畑侑亮	4. 巻 28
2. 論文標題 幕末・明治を生きた兵学者の備忘録 野沢文庫『嘉永年間異国船渡来記』の紹介にかえて	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 書物・出版と社会変容	6. 最初と最後の頁 31 - 47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古畑侑亮	4. 巻 230
2. 論文標題 明治初期の旧旗本領におけるネットワークと歴史意識：佐久間家の旧知行所を事例として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 人民の歴史学	6. 最初と最後の頁 12 - 24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋章則	4. 巻 1
2. 論文標題 大崎の町人文化 狂歌を中心にー	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 オンライン・ジャーナル歴史資料学	6. 最初と最後の頁 1 - 28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高橋章則	4. 巻 -
2. 論文標題 「文芸」の地誌から「口承」の地誌へー『信達風土雑記』と『信達一統志』	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『書物のなかの近世国家 東アジア「一統志」の時代』（勉誠出版）	6. 最初と最後の頁 173 - 185
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 高橋章則	4. 巻 70
2. 論文標題 「歌川広重「魚尽」シリーズの成り立ちー俳諧歌（狂歌）関連資料の時系列化が導き出すことー	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東北大学文学研究科研究年報	6. 最初と最後の頁 1 - 52
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 望月良親	4. 巻 59
2. 論文標題 近世長良川鵜飼観覧と俳人 芭蕉・惟然・敲氷	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 海南史学	6. 最初と最後の頁 49 - 66
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伴野文亮	4. 巻 33
2. 論文標題 明治俳諧史のなかの松島十湖	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 文化科学研究	6. 最初と最後の頁 88 - 102
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 若尾政希	4. 巻 -
2. 論文標題 天道と日本近世の政治・社会・個人	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 檀国大学校日本研究所『東アジア知識人文学の実際』（韓国・BOGOSA）	6. 最初と最後の頁 131 - 160
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木俊幸	4. 巻 127
2. 論文標題 東京書肆の書籍安売 正札屋・鶴声社・金桜堂と兎屋	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 紀要 言語・文学・文化（中央大学文学部）	6. 最初と最後の頁 97 - 133
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 引野亨輔	4. 巻 30 - 1
2. 論文標題 The Establishment of Commercial Publishing and the Transformation of Buddhism in Early Modern Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Buddhist Thought and Culture	6. 最初と最後の頁 103 - 124
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 曽根原理・梅田千尋・Christopher MAYO・芹口真結子・朴澤直秀	4. 巻 30 - 1
2. 論文標題 Religious Transformations in Early Modern Japan: Relationships Between the State, Religious Organizations and Communities	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Buddhist Thought & Culture	6. 最初と最後の頁 39 - 76
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 曾根原理	4. 巻 -
2. 論文標題 Ieyasu's posthumous title and the Tokugawa discourse on "Divine country"	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Edited by Bernhard Scheid et al. Religion, Power, and the Rise of Shinto in Early Modern Japan. London; Bloomsbury	6. 最初と最後の頁 33 - 43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小関悠一郎	4. 巻 848
2. 論文標題 一九世紀における近世明君像と「仁政」・「富国」論	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 歴史評論	6. 最初と最後の頁 19 - 31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小関悠一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 千葉資料救済ネットの活動と課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 群馬歴史文化遺産発掘・活用・発信実行委員会編『群馬の歴史資料を未来へ』（群馬歴史文化遺産発掘・活用・発信実行委員会）	6. 最初と最後の頁 63 - 66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤宏之	4. 巻 -
2. 論文標題 近世種子島の気候変動と地域社会	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 中塚武監修、鎌谷かおる・佐藤大介編『気候変動から読み直す日本史6 近世の列島を俯瞰するー南から北へー』（臨川書店）	6. 最初と最後の頁 51 - 85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤宏之	4. 巻 -
2. 論文標題 「端島」であるということ 災害への対応力、災害からの復元力	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 中塚武・鎌谷かおる・佐野雅規・伊藤啓介・對馬あかね編『気候変動から読みなおす日本史1 新しい気候観と日本史の新たな可能性』	6. 最初と最後の頁 291 - 295
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤宏之	4. 巻 -
2. 論文標題 未来につなぐ、ふるさとの記憶	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 山本宗立・高宮広土編『魅惑の島々、奄美群島 歴史・文化編 』（北斗書房）	6. 最初と最後の頁 37 - 41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤宏之	4. 巻 -
2. 論文標題 大規模自然災害時を想定した文化財保全DIGオンラインシミュレーションの方法論的探究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『鹿児島大学地域防災教育研究センター 令和2年度報告書』	6. 最初と最後の頁 61 - 65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤宏之	4. 巻 10
2. 論文標題 大規模自然災害を想定した文化財保全オンラインシミュレーションの方法論的探究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 九州保健福祉大学博物館学年報	6. 最初と最後の頁 13 - 22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤宏之	4. 巻 9
2. 論文標題 蒲生御飯屋日帳・廻文留にみる気候変動と地域社会	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 始良市誌史料	6. 最初と最後の頁 249 - 266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伴野文亮	4. 巻 10
2. 論文標題 一橋大学附属図書館所蔵「金原家文書」解説	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 静岡県地域史研究	6. 最初と最後の頁 4 - 13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伴野文亮	4. 巻 10
2. 論文標題 治河協力社附属水利学校の研究	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 静岡県地域史研究	6. 最初と最後の頁 30 - 42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伴野文亮	4. 巻 848
2. 論文標題 近代天皇制国家と「偉人」－金原明善の「偉人」化とその歴史的意味－	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 歴史評論	6. 最初と最後の頁 59 - 72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伴野 文亮	4. 巻 9
2. 論文標題 一次史料から立ち上げる治河協力社の研究：金原家文書「事務書類」を手がかりとして	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 一橋大学附属図書館研究開発室年報	6. 最初と最後の頁 1 - 31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15057/71590	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伴野文亮	4. 巻 13
2. 論文標題 コロナ禍の大学に生きる	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 年報近現代史研究	6. 最初と最後の頁 13 - 15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古畑侑亮	4. 巻 67
2. 論文標題 戦前における在野研究者の蒐集活動と史料認識 金沢甚衛の河川交通史研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 大倉山論集	6. 最初と最後の頁 213 - 268
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 若尾政希	4. 巻 89
2. 論文標題 百姓一揆から日本の近世を考える	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 じっきょう 地歴・公民科資料	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 若尾政希	4. 巻 237
2. 論文標題 『シリーズ 本の文化史 3』を編みながら考えたこと	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 歴史科学	6. 最初と最後の頁 1 - 8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小関悠一郎	4. 巻 40
2. 論文標題 幕末維新期の久留里藩と武士の学び	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 久留里城址資料館年報	6. 最初と最後の頁 23 - 35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木淳世	4. 巻 133
2. 論文標題 「国産」政策の「御救」機能：八戸南部家の場合	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 歴史	6. 最初と最後の頁 1-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木淳世	4. 巻 33
2. 論文標題 「別家」意識の成立と展開：八戸南部家の場合	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 八戸市博物館研究紀要	6. 最初と最後の頁 21 - 36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木俊幸	4. 巻 -
2. 論文標題 医籍専売書肆英蘭堂島村利助について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医学・科学・博物 東アジア古典籍の世界（陳捷編、勉誠出版）（図書所収論文）	6. 最初と最後の頁 418-432
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木俊幸	4. 巻 129
2. 論文標題 脩道館補説	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 紀要 言語・文学・文化（中央大学文学部）	6. 最初と最後の頁 73 - 98
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 引野亨輔	4. 巻 17
2. 論文標題 経蔵のなかの近世と近代：印刷技術の近代化と仏教知の変容	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本仏教総合研究	6. 最初と最後の頁 75 - 97
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 引野亨輔	4. 巻 305
2. 論文標題 牢人たちの忠義 近世武士の倫理観と歴史意識	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 史学研究	6. 最初と最後の頁 83-105
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横田冬彦	4. 巻 128 - 5
2. 論文標題 2018年度の歴史学界 回顧と展望 近世 一総論	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 史学雑誌	6. 最初と最後の頁 106 - 109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤宏之	4. 巻 8
2. 論文標題 薩摩藩士が残した日記から読み解く幕末の政局 - 「新納仲左衛門日記」と「邦永伸之進日記」-	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 始良市誌史料	6. 最初と最後の頁 273-286
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤宏之	4. 巻 -
2. 論文標題 大規模自然災害に備えうる / 耐えうる地域歴史文化の創成にむけて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 鹿児島大学地震火山地域防災センター令和元年度報告書	6. 最初と最後の頁 108-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 曾根原理	4. 巻 7
2. 論文標題 阿部次郎の東北帝国大学赴任と狩野亨吉	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東北大学附属図書館調査研究室年報	6. 最初と最後の頁 13 - 18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 山本英二	4. 巻 862
2. 論文標題 書評馬部隆弘著『由緒・偽文書と地域社会 北河内を中心に』	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本歴史	6. 最初と最後の頁 89-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川和也	4. 巻 -
2. 論文標題 歴史における「日常」の発見—大河ドラマ・時代劇・司馬文学と戦後歴史学	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本文化研究における歴史と文学 (柳沢昌紀編、中京大学先端共同研究機構文化科学研究所) (図書所収論文)	6. 最初と最後の頁 175-195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川和也	4. 巻 31
2. 論文標題 書評：横田冬彦著『日本近世書物文化史の研究』	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アーカイブズ学研究	6. 最初と最後の頁 87 - 92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 若尾政希	4. 巻 235
2. 論文標題 歴史研究に何が出来るか 『第4次現代歴史学の成果と課題』を編みながら考えたこと	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 歴史科学	6. 最初と最後の頁 36-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 若尾政希	4. 巻 -
2. 論文標題 天道と日本近世の政治・社会	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 法と国制の比較史 西欧・東アジア・日本 (水林彪・青木人志・松園潤一郎編、評論社)(図書所収論文)	6. 最初と最後の頁 511-529
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木俊幸	4. 巻 13
2. 論文標題 陸前古川における新聞・雑誌・書籍の流通 領収証の束から浮かび上がるもの 書籍文化史料片々 其之十三	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 書物学	6. 最初と最後の頁 66-73
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 若尾政希	4. 巻 116
2. 論文標題 Bookshops and Publishing: Characteristics of the Culture of Books in the Edo Period	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ACTA ASIATICA(東方学会)	6. 最初と最後の頁 57-72
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 若尾政希	4. 巻 123
2. 論文標題 俳書出版の明治 久野禰鶴と摺物所中野屋大助	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 紀要 言語・文学・文化(中央大学文学部)	6. 最初と最後の頁 117-144
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤宏之	4. 巻 -
2. 論文標題 地理情報システムを用いた歴史文化情報の可視化と災害対策への活用に向けた基盤構築	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 鹿児島大学地域防災教育研究センター 平成30年度報告書	6. 最初と最後の頁 73-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小関悠一郎	4. 巻 846
2. 論文標題 江戸時代の「富国強兵」論と「民利」の思想	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本歴史	6. 最初と最後の頁 39-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小関悠一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 松平定信明君像と「安民」=勤王論の系譜	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 明君の時代 十八世紀中期～十九世紀の藩主と藩政 (浪川健治編、清文堂出版) (図書所収論文)	6. 最初と最後の頁 276-298
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 曾根原理	4. 巻 14
2. 論文標題 「牛丸冬画集」にみる日清戦争 鷗外が見聞した戦地の風景	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東北大学史料館紀要	6. 最初と最後の頁 1-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本英二	4. 巻 -
2. 論文標題 イエの由緒	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 法と国制の比較史 西欧・東アジア・日本 (水林彪・青木人志・松園潤一郎編、評論社)(図書所収論文)	6. 最初と最後の頁 457-482
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本英二	4. 巻 263
2. 論文標題 近世における「偽系図」について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 歴史と地理 日本史の研究	6. 最初と最後の頁 27-32
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 引野亨輔	4. 巻 VOL46-16
2. 論文標題 仏教書と民衆の近世	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 217-228
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉岳志	4. 巻 58
2. 論文標題 幕末の陰陽頭・朝廷と彗星	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 島根県立大学松江キャンパス研究紀要	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横田冬彦	4. 巻 836
2. 論文標題 江戸の編集者	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 図書(岩波書店)	6. 最初と最後の頁 17-21
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 望月良親	4. 巻 24
2. 論文標題 近世長良川鵜飼観覧研究序説	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 岐阜市歴史博物館研究紀要	6. 最初と最後の頁 27-38
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 芹口真結子	4. 巻 -
2. 論文標題 真宗寺院と清内路門徒	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 山里清内路の社会構造 近世から現代へ(吉田伸之編、山川出版社)(図書所収論文)	6. 最初と最後の頁 196-224
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川和也	4. 巻 825
2. 論文標題 書評,田中秀樹著『朱子学の時代 治者の 主体 形成の思想』	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 歴史評論	6. 最初と最後の頁 83-87
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計39件（うち招待講演 18件 / うち国際学会 8件）

1. 発表者名 若尾政希
2. 発表標題 近世日本の思想史的位置 政治思想をめぐって
3. 学会等名 韓国檀国大学校日本研究所国際学術大会2021（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 若尾政希
2. 発表標題 書物・出版は社会をいかに変えてきたのかー日本史研究の最前線ー
3. 学会等名 岐阜県土岐市市民大学（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 古畑侑亮
2. 発表標題 「好古家」が見た明治初期の熱海温泉 武蔵国の在村医小室元長の紀行文と漢詩文の分析から
3. 学会等名 日本温泉文化研究会 2021年度第2回研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 古畑侑亮
2. 発表標題 明治初期の旧旗本領におけるネットワークと歴史意識 武蔵国の在村医小室元長を事例に
3. 学会等名 東京歴史科学研究会 第55回大会 個別報告
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小川和也
2. 発表標題 心齋杉原平助の思想 朱子学から清朝考証学へ ,小川和也,旗本杉原家の世界 大番士・儒者・屋敷・絵画
3. 学会等名 国立歴史民俗博物館主催「番方旗本家に関する総合的研究 大番士・儒者杉原家文書を中心に 」シンポジウム
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 望月良親
2. 発表標題 現在の高知資料ネットの活動と今後の展望
3. 学会等名 歴史文化資料保全西日本大学協議会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小関悠一郎
2. 発表標題 近世日本の政治理念とその変容 「仁政」・「富国」理念を中心に
3. 学会等名 明治維新史学会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伴野文亮
2. 発表標題 治河協力社再考 金原明善とともに天竜川治水に挑んだ人びとの歴史的 position づけをめぐる
3. 学会等名 静岡県近代史研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伴野文亮
2. 発表標題 明治期遠州「旧派」の位相 摩訶庵蒼山追善句集『しら露集』を手がかりに
3. 学会等名 俳文学会第72回全国大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伴野文亮
2. 発表標題 「奇人俳人」松島十湖の俳諧実践 俳諧と報徳、そして地域
3. 学会等名 第147回「書物・出版と社会変容」研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 芹口真結子
2. 発表標題 俗人と宗教者をめぐる教化活動の統制とその実態
3. 学会等名 歴史学研究会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 芹口真結子
2. 発表標題 Temple Towns in the Capital: Higashi Honganji 's Temple Town in Early Modern Kyoto
3. 学会等名 2021 Conference of the Association for Asian Studies (国際学会)
4. 発表年 2021年



1. 発表者名 佐藤宏之
2. 発表標題 鹿児島歴史資料防災ネットワーク－オンラインワークショップの試み－
3. 学会等名 第7回全国史料ネット研究交流集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐藤宏之
2. 発表標題 地域の戦争の記憶をめぐる歴史実践－新たな価値の創出をめざして－
3. 学会等名 日本公民館学会・第19回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐藤宏之
2. 発表標題 島嶼地域からみる歴史資料の過去・現在・未来
3. 学会等名 学術野営in奥州市
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 伴野文亮
2. 発表標題 治河協力社再考 - 金原明善とともに天竜川治水に挑んだ人びとの歴史的位置づけをめぐって -
3. 学会等名 静岡県近代史研究会2021年度6月例会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 古畑侑亮
2. 発表標題 随筆を抜書すること 幕末・明治における「好古家」の編纂物作成の周辺
3. 学会等名 「近代日本の日記文化と自己表象」第25回研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 曽根原理
2. 発表標題 The Re-Emergence of Enryakuji and the Re-Organization of Jobodai-in as a Detached Cloister
3. 学会等名 2021 Conference of the Association for Asian Studies (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 綱川歩美
2. 発表標題 近世後期藩学と闇齋学
3. 学会等名 東京学芸大学史学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 若尾政希
2. 発表標題 “Defining the Historical Role of Manuscripts in Early Modern Japan”
3. 学会等名 Symposium Religion in the Age of the Book, Leiden University (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 若尾政希
2. 発表標題 天道と日本近世の政治・社会
3. 学会等名 檀国大学校日本研究所碩学教授招聘講演会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 若尾政希
2. 発表標題 日本近世を生きた人びとの思想形成を考える
3. 学会等名 一般財団法人東方学会令和元年度秋季学術大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 若尾政希
2. 発表標題 書物・出版はいかに社会を変えてきたのか
3. 学会等名 中国四国歴史学地理学協会高知大学大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 若尾政希
2. 発表標題 書物・出版は日本社会をいかに変えたのか ー大名の政治から百姓一揆までー
3. 学会等名 一橋フォーラム21「いま、日本史がおもしろい」（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 横田冬彦
2. 発表標題 近世民衆の蔵書と読書 仏書の読者をめぐって
3. 学会等名 名古屋近世史研究会 大会記念講演（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 横田冬彦
2. 発表標題 The Readers of the Buddhist books in Early Modern Japan
3. 学会等名 Symposium Religion in the Age of the Book, Leiden University (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 横田冬彦
2. 発表標題 近世民衆の蔵書と読書 仏書の読者をめぐって
3. 学会等名 第40回（2018年度）日本出版学会賞 受賞記念講演会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤宏之
2. 発表標題 歴史から読み解く災害への対応力・復元力
3. 学会等名 第29回環境地質学シンポジウム（社会地質学会）（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤宏之・田口紘子・杉原薫・新名隆志・城野一憲
2. 発表標題 「戦争体験」を活用した平和形成主体育成のための「方法としての平和教育」の構築にむけて
3. 学会等名 社会系教科教育学会第31回研究発表大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小関悠一郎
2. 発表標題 木更津市立図書館和本調査報告
3. 学会等名 第128回「書物・出版と社会変容」研究会木更津大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本英二
2. 発表標題 近世甲斐国の偽文書と贋作者たち
3. 学会等名 近世の宗教と社会研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小川和也
2. 発表標題 昌平坂学問所と朱子学
3. 学会等名 杉本家文書第3回研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 若尾政希
2. 発表標題 日本近世における写本の歴史的位置
3. 学会等名 国際シンポジウム「書物を通してみる近世日本の文化・思想」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 若尾政希
2. 発表標題 書物・出版と日本近世
3. 学会等名 ストラスブール大学・講演会(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤宏之
2. 発表標題 資料保全活動と学校教育の連携の可能性 鹿児島資料ネットの取り組み
3. 学会等名 歴史資料ネットワーク2018年度シンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤宏之
2. 発表標題 ふるさとの記憶を未来へ 鹿児島資料ネットの取り組み
3. 学会等名 第33回人文機構シンポジウム 鹿児島大学・人間文化研究機構協定締結記念シンポジウム「鹿児島の歴史再発見 - 新しい地域文化像を求めて -」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小関悠一郎
2. 発表標題 近世中後期における藩政理念の展開と変容
3. 学会等名 シンポジウム「熊本藩からみた日本近世 比較藩研究の提起」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 引野亨輔
2. 発表標題 経蔵のなかの近世と近代 印刷技術の近代化と仏教知の変容
3. 学会等名 日本仏教総合研究学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木淳世
2. 発表標題 八戸城下の学問交流 豪商・石橋家を中心にして
3. 学会等名 八戸市博物館市民講座(招待講演)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計10件

1. 著者名 今村 直樹、小関 悠一郎	4. 発行年 2021年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 326
3. 書名 熊本藩からみた日本近世	

1. 著者名 伴野 文亮、茂木 謙之介	4. 発行年 2022年
2. 出版社 文学通信	5. 総ページ数 208
3. 書名 日本学の教科書	

1. 著者名 小林 准士	4. 発行年 2022年
2. 出版社 塙書房	5. 総ページ数 408
3. 書名 日本近世の宗教秩序	

1. 著者名 鈴木淳世	4. 発行年 2020年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 480
3. 書名 近世豪商・豪農の 家 経営と書物受容：北奥地域の事例研究	

1. 著者名 鈴木俊幸	4. 発行年 2019年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 480
3. 書名 書籍文化史料論	



1. 著者名 小林准士（共著）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 松江市教育委員会	5. 総ページ数 882
3. 書名 松江市史通史編4 近世	

1. 著者名 望月良親	4. 発行年 2020年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 256
3. 書名 日本近世社会と町役人	

1. 著者名 若尾 政希	4. 発行年 2018年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 252
3. 書名 百姓一揆	

1. 著者名 鈴木俊幸	4. 発行年 2018年
2. 出版社 高美書店	5. 総ページ数 417
3. 書名 信州の本屋と出版 江戸から明治へ	

1. 著者名 横田 冬彦	4. 発行年 2018年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 502
3. 書名 日本近世書物文化史の研究	

〔産業財産権〕

〔その他〕

「書物・出版と社会変容」研究 コミュニティ・ホームページ <a href="https://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/handle/10086/16282">https://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/handle/10086/16282</a> 若尾政希研究室、日本近世史・思想史研究の窓 <a href="https://www.soc.hit-u.ac.jp/~wakao/">https://www.soc.hit-u.ac.jp/~wakao/</a>
---

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	横田 冬彦  (Yokota Fuyuhiko)  (70166883)	京都大学・文学研究科・名誉教授    (14301)	
研究分担者	引野 亨輔  (Hikino Kyosuke)  (90389065)	東北大学・文学研究科・准教授    (11301)	
研究分担者	佐藤 宏之  (Sato Hiroyuki)  (50599339)	鹿児島大学・法文教育学域教育学系・准教授    (17701)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	山本 英二 (Yamamoto Eiji)  (20262678)	信州大学・学術研究院人文科学系・教授  (13601)	
研究分担者	小関 悠一郎 (Koseki Yuuichiro)  (20636071)	千葉大学・教育学部・准教授  (12501)	
研究分担者	鈴木 俊幸 (Suzuki Toshiyuki)  (00216417)	中央大学・文学部・教授  (32641)	
研究分担者	高橋 章則 (Takahashi Akinori)  (10187990)	東北大学・文学研究科・教授  (11301)	
研究分担者	曾根原 理 (Sonehara Satoshi)  (30222079)	東北大学・学術資源研究公開センター・助教  (11301)	
研究分担者	小林 准士 (Kobayashi Junji)  (80294354)	島根大学・学術研究院人文社会科学系・教授  (15201)	
研究分担者	小川 和也 (Ogawa Kazunari)  (90509035)	中京大学・文学部・教授  (33908)	
研究分担者	芹口 真結子 (Seriguchi Mayuko)  (70801158)	岐阜大学・地域科学部・助教  (13701)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	古畑 侑亮 (Furuhata Yusuke) (10906902)	一橋大学・大学院社会学研究科・研究補助員  (12613)	
研究分担者	望月 良親 (Mochiduki Yoshichika) (30814040)	高知大学・教育研究部人文社会科学系教育学部門・講師  (16401)	
研究分担者	綱川 歩美 (Tsunakawa Ayumi) (60882628)	東京学芸大学・教育学部・研究員  (12604)	
研究分担者	杉 岳志 (Sugi Takeshi) (40456306)	島根県立大学・人間文化学部・准教授  (25201)	
研究分担者	伴野 文亮 (Tomono Fumiaki) (60865624)	東北大学・学術資源研究公開センター・協力研究員  (11301)	
研究分担者	鈴木 淳世 (Suzuki Yoshitoki) (00813130)	一橋大学・大学院社会学研究科・特任講師（ジュニアフェロー）  (12613)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関